

人口減少問題対策特別委員会

県内行政視察概要

令和2年11月19日(木) ~11月20日(金)

① 株式会社 MGNET

- 視察テーマ：① ものづくりにまつわる地域資源の活用支援による地域活性化について
- ② 若手起業家の支援に向けた取組

○株式会社 MGNET (マグネット) の概要

燕市の金型メーカーである株式会社武田金型製作所の事業部から独立して、第二創業に至った企業である。2019年度からは新潟県の「民間スタートアップ拠点」のひとつとして、若手起業家の支援にも取り組んでいる。

※ 民間スタートアップ拠点とは、起業を目指す方への交流の場の提供など、起業の活性化を図る拠点のこと

設立	2011年10月
代表者	武田 修美
資本金	900万円
事業内容	・武田金型製作所製造「FOR」の企画、開発、販売 ・製造業を中心としたプロダクトマネジメント、コンセプトメイク・ブランディング事業 ・ものづくりにまつわる地域資源の活用支援事業

(出典：株式会社 MGNET ホームページ)

○新潟県の起業の状況

新潟県の開業率は、3.0% (全国46位) と、全国5.6%に対して低水準となっている。

県としても、魅力ある多様な雇用の場を創出し、地域の活力につながる起業を促進することが重要であり、開業資金の供給に加え、開業後の経営課題解決及び事業の持続に向けたフォローアップを充実させるなど、起業しやすい環境作りを行う必要があるとしている。

さらに、U・Iターンにより起業する若者を呼び込み、その中から成功事例を発信することで、U・Iターン起業の好循環を作っていく必要があるとの認識のもと、「新潟県総合計画～住んでよし、訪れてよしの新潟県～」において、最終目標値を5.6%として取組を行っている。

② 妙高市議会

- 視察テーマ：① 移住・定住促進に向けた取組について
- ② ワークেশョンの推進に向けた取組について
- ③ 現地視察



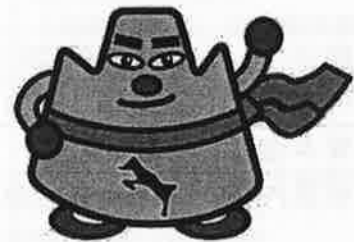
○妙高市の人口推移について

妙高市の総人口は減少が続いており、年少人口（0～14歳）は減少、高齢者人口（65歳以上）は増加が続き、令和2年9月末現在31,473人で、少子高齢化が進んでいる状況である。人口動態で見ると、自然動態では、出生数よりも死亡数が多い状況が続いている上、年々その差が大きくなってきている。社会動態では、転出者数が転入者数を上回っている状況が続いている。

今後は、第3次妙高市総合計画（2020～2024）で設定する「人口減少問題に関する戦略目標」の視点による積極的な人口減少対策を実施し、出生数の向上による自然動態の改善とあわせ、移住者の増加と定住者の転出抑制を図る取組を進め、社会動態の改善を目指すことにより、2024年の人口総数の目標を30,000人と設定している。

○妙高市の移住・定住促進に向けた取組

新型コロナウイルス感染症に伴い、都会から地方への移住希望者は増加傾向にあるが、相談窓口の開設は業務時間中であるため、希望者が相談できる時間が限られている。このような不便を解消し、24時間移住・定住に関する問い合わせを受け付けることができる「AIチャットボット」の運用を開始している。また、東京圏から妙高市に移住された方を対象に助成金を交付するなど、移住・定住促進に向けさまざまな制度が設けられている。



○ワークেশョンの推進

妙高市では、自然環境を活かしたワークেশョン事業を令和2年度から5ヶ年計画している。今年度はワークেশョンに関する包括連携協定や首都圏の大手外食チェーン・IT企業を対象としたモニターツアーを実施する予定。

令和2年2月14日、えちごトキめき鉄道妙高高原駅の駅舎の一部を改修し、コワーキングスペースが開所した。コワーキングスペースとは、ビジネスマン向けの作業場で、スキーや温泉などを楽しみながら、この場所で仕事を行ってもらうワークেশョンへの活用が見込まれている。



（出典：えちごトキめき鉄道ホームページ）

③ 十日町市議会

- 視察テーマ：① 子育て環境整備に向けた取組について
- ② 現地視察

○十日町市の少子化の動向

十日町市の合計特殊出生率は、平成24年から30年までの間、年ごとに増減はあるものの、1.5程度から1.9程度で推移しており、いずれの年も新潟県及び全国の数値を上回っている。

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
十日町市	1.80	1.81	1.91	1.60	1.78	1.55	1.65
新潟県	1.43	1.44	1.43	1.44	1.43	1.41	1.41
全国	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42

(出典：新潟県「福祉保健年報」・「人口動態統計の概況」)

○十日町市子ども・子育て応援プラン

十日町市では、「十日町市子ども・子育て応援プラン」(令和2年度から令和6年度まで)を策定し、子どもと子育て家庭の目線に立ち、市の実情に即した子ども・子育て支援施策を展開している。

〈基本目標〉

- ①子どもが心身ともに健やかに成長することができる【子どもの視点】
- ②家庭の子育て力が高まり、安心して子育てできる【子育て家庭の視点】
- ③地域の特色と活力を生かし、子どもと家庭をさせる【地域の視点】

○十日町市児童センターの概要

(出典：十日町市ホームページ)

令和元年8月にオープンした屋内施設「めぐらんど」に続き、令和2年7月22日に屋外広場(しばふ広場)が完成し、全面芝生張りで「そりゲレンデ」や裸足で楽しむ「ふわふわドーム」などの大型遊具も設置された。



子ども達に健全な遊びの場と遊びを提供し、併せて健康づくりに役立てることにしている。子育て世代から要望の強かった子育て支援施設の核ともいえるもので、十日町市では初の児童センターの開設である。大型遊具や運動場、乳幼児向けのスペースなどを備え、冬や雨の日でも遊ぶことができる。

人口減少問題対策特別委員会 県内行政視察日程表

月 日	発着時刻	発着地・視察先	備 考
11/19 (木)	10:00 (発)	議会庁舎	【参集場所】 議会庁舎正面
	10:45 (着)	●株式会社 MGN E T ○ものづくりにまつわる地域資源の活用支援による地域活性化について ○若手起業家の支援に向けた取組について	〒959-1289 燕市東太田 14-3 TEL/FAX : 0256-46-8720
	11:45 (発)		
	12:00 (着)	【 屋 食 】 燕三条ワシントンホテル	〒959-1232 新潟県燕市井土巻3-65 TEL : 0256-33-2000 FAX : 0256-63-2000
	12:40 (発)	銀座	
	14:30 (着)	●妙高市議会 ○移住・定住促進に向けた取組について ○ワーケーションの推進に向けた取組について ○現地視察	【説明場所①：妙高高原メッセ】 〒949-2106 妙高市大字田口33番地 TEL:0255-70-2275 【説明場所②：妙高高原駅】 〒949-2106 新潟県妙高市田口
	16:00 (発)		
17:30 (着)	【 宿 舎 】 あてま高原リゾート ベルナティオ	〒949-8556 新潟県十日町市珠川 TEL : 025-758-4888 FAX : 025-758-4848	
11/20 (金)	9:00 (発)	【 宿 舎 】	
	9:20 (着)	●十日町市議会 ○子育て環境整備に向けた取組について ○現地視察	【説明場所①：十日町市役所】 〒948-8501 十日町市千歳町3丁目3 TEL : 025-757-3119 FAX : 025-757-5999 【説明場所②：十日町市児童センター】 〒948-0022 十日町市学校町1丁目808番地6 TEL : 025-761-7707
	10:30 (発)		
	12:00 (着)	議会庁舎	解 散